

1クール 2週 催吐リスク(レジメン) 中等度催吐リスク

薬品名	用量	投与日
ベバシズマブ	5mg/kg	day1
イリノテカン	165mg/m ²	day1
オキサリプラチン	85mg/m ²	day1
レボホリナート	200mg/m ²	day1
フルオロウラシル	3200mg/m ²	day1,48時間

	血管への影響	副作用/主な特徴
ベバシズマブ	非炎症性抗がん剤	高血圧、出血、血栓塞栓症、創傷治癒遅延、消化管穿孔 家庭血圧測定、大手術前後4週間は休薬
イリノテカン	炎症性抗がん剤	骨髄抑制、下痢 UGT1A1検査、止瀉薬(ロペラミド)を適宜使用
オキサリプラチン	炎症性抗がん剤	骨髄抑制、過敏症、末梢神経障害 総投与量680mg/m ² でGrade2の末梢神経障害が20%以上出現、低温との接触を避ける
フルオロウラシル	炎症性抗がん剤	骨髄抑制、口内炎、手足症候群 急速静注:RNA合成阻害(骨髄抑制に関与)、持続静注:DNA合成阻害
レボホリナート	—	フルオロウラシルによる副作用が強くなる フルオロウラシルのDNA合成阻害作用を増強し抗腫瘍効果を高める